

所 属 長 印

同 志 社 大 学

2008 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2009 年 2 月 26 日提出

所 属	職 名	氏 名	印
法 学 部	准 教 授	濱 真 一 郎	
研 究 題 目	現代正義論と価値多元論の可能性		
研 究 成 果 の 概 要	<p>本年度は、学術論文「立憲主義の正統性 — アンドレイ・マーモアの議論を素材として」を執筆した。富沢克・力久昌幸編著『グローバル時代の法と政治 — 世界・国家・地方』（成文堂、2009年）の第7章として、年度内に出版の予定である。</p> <p>学会報告にかんしては、政治思想学会 2008 年度（第 15 回）研究会の、研究会 1 「政治空間における自由」にて、「バーリン自由論の再検討」と題して報告および質疑応答を行った。</p> <p>教育にかんしては、「法哲学」「現代法哲学の展開」「法と社会」「イギリス法」「法学」に関する邦語参考文献を購入した。さらに、大学院の文献研究や学部の原典講読に関連する、外国語文献も購入した。それらの諸文献を利用して、教育面でも一定の成果を上げることができた。</p>		